

■会長/小口 泰幸 ■幹事/宮坂 康弘

◆司会=川村 総一郎SAA、

◆ゲストビジター=三澤俊明 伊那中央 RC 米山カウンセラー、アミン・エムディ・アル 米山留学生、張旭光 米山留学生。

◆出席報告

本日	50.98%	25名欠席
前回訂正	76.47%	12名欠席

◆ラッキーナンバー=No.22 原田美室君

◆ニコニコボックス 小口泰幸君・宮坂康弘君=伊那中央 RC 米山カウンセラー三澤俊明様、米山留学生アミン・エムディ・アル様、ようこそ諏訪 RC へいらっしゃいました。本日はよろしくお願ひいたします。●平林明君・川村総一郎君・小林由孝君・佐藤君・岩波寿亮君・合田敦子君=アミン・エムディ・アルさん、ようこそ諏訪 RC へ●ゴルフ同好会=同好会ゴルフコンペ晴天の中無事開催できました。表彰式も大変盛り上がり、楽しいひと時でした。来年も多くのメンバーの参加をお願いします。●川村総一郎君=ゴルフ同好会コンペ優勝させていただきました。平林に勝って気分が良いです。●伊藤武利君=結婚記念日のお花をいただきました。指折り数えて53回目です。長いだけです。●有賀明彦君=結婚記念日に花を頂いてありがとうございます。●浅見英男君=結婚記念日にお花を頂きありがとうございます。●原田美室君=ラッキーナンバーに当たって。

◆会長告知・小口泰幸君=本日は、9日、10日に国際ロータリー第2600地区2024-2025地区大会が佐久 RC をホストクラブに軽井沢で開催されましたので簡単にご報告させていただきます。大会テーマは「結 (MUSUBI)」とし、人と人との結びつきを大切にする心をもって実行され、本年度の地区方針「ロータリーはあなたと私が出会うところ」が実現できたと思います。1日目は約200名、2日目は約800名の参加がございました。1日目、会長・幹事会に続いての本会議では、第2650地区パストガバナー米山記念奨学会評議員 敦賀 RC の刀根 庄兵衛氏の「今、ロータリーを考える」との演題で最近のロータリーの変化とこれからのロータリーについてご講演をいただきました。次に元 J リーグ第五代チェアマン村井満氏の先の見えない時代をどう生きるか「透明性を高める天日干し経営」のご講演がございました。そして、夜の部はこのお二人の講師の歓迎晩さん会が弦楽四重奏カルテット・ルマーージュの皆さんの記念演奏会の中、華やかに開催されました。2日目は諏訪クラブからも15名の参加をいただき、本会議、参加クラブの紹介の場面では大きな声で「ハイ」と返事をして存在感を示すことができました。ご協力ありがとうございました。その後、青少年アワーではインターアクトクラブ、ローターアクトクラブ、青少年交換留学生、米山記念奨学生、米山学友会の若い人たちが活動報告をされました。そして、昼食後の記念アトラクションでは信州御代田龍神太鼓保存会の皆様による龍神太鼓と龍神の舞が披露されました。続いて二日目のメイン、山崎晃会員が一番楽しみにしていたというテレビ等でご活躍の法政大学元総長田中優子様の「江戸から見るボランティア事情」

という記念講演がございました。時間の都合でこの講演までの参加として軽井沢を後にしました。その後、各種表彰、ガバナーエレクト、ガバナーノミニ、次年度の地区大会ホストクラブの紹介が予定されておりました。資料によりますと表彰関係では地区ガバナー賞に56年在籍者で三井章義会員、太田信男会員、40年在籍者で森幸俊会員、30年在籍者で折井俊美会員が表彰されました。また、ガバナーエレクトには松本南ロータリークラブの小林磨史氏、ガバナーノミニには飯田南ロータリークラブの橋上信久氏、次年度地区大会ホストクラブには中信第二グループ、開催日は2025年11月15日(土)~16日(日)、開催場所は1日目松本市ホテルブエナビスタ2日目キッセイ文化ホールと紹介がございました。ぜひ今から予定に入れておいてください。地区大会の詳細につきましては後日、報告書が上がってくると思いますのでそちらをご覧ください。本日は以上です。

◆幹事報告・宮坂康弘君=①本日の例会は、クラブフォーラムロータリー財団です。小針ロータリー財団委員長、よろしくお願い致します。②本日のゲストビジターは、伊那中央ロータリークラブ米山カウンセラー・三澤俊明様、米山奨学生・アミン・エムディ・アル様、張旭光さんです。③国際ロータリー第2600地区の年次大会が11月10日に軽井沢プリンスホテルウエストで開催されました。諏訪クラブからは15名が参加しました。参加できなかった会員の皆さまには大会資料を入れておきましたのでご覧ください。④例会終了後、理事会を開催いたします。理事会メンバーの皆さまはお集まりください。

●張旭光 米山留学生=皆さんこんにちは。先月マイクロアレイ解析を使用して肝臓遺伝子を網羅的に解析しました。その結果 GPNMB という遺伝子に注目しました。この遺伝子は皮膚がんや乳がんでは過剰に発現するが、これまで肝がんにおける GPNMB の発現に関する研究はほとんどありませんでした。私たちの結果は、正常な肝臓組織に比べて肝がん組織の GPNMB レベルが有意に上昇しました。そして GPNMB はフィブラートによって発現が低下しました。フィブラートは GPNMB によって肝がん発生を抑制する可能性があるかと推測されています。その後の研究は GPNMB を中心に進められています。先週日曜に松本で初めてのマラソン大会に参加し、4時間48分で完走しました。途中アルプスの山、太鼓の演奏を見たり、蕎麦やリンゴや山賊焼きを食べたり、見知らぬ人が応援してくれたりして楽しかったです。走った後はとても疲れて、その日は12時間寝て、翌日は足と膝が痛く階段を上がるのも大変でした。今週水曜にやっと回復しました。次回機会があれば、また参加させていただくことになると思います。

●三澤俊明 伊那中央 RC 米山カウンセラー=今日は諏訪 RC 皆さんとは1年ぶりとなります。アミン・エムディ・アル君の米山カウンセラーの三澤です。アミン・エムディ・アル君の米山奨学生任期2年に合わせる形で、引き続き米山カウンセラーを務めております。カウンセラーの仕事は、異国で孤独にさいなまれる留学生のために、相談に乗り支援するのが役目ですが、どちらかというと RC 会員とのつなぎ役が主なる業務です。先日行ったカレーパーティーなどがそうです。今日皆さんにスピーチを行う、アミン・エムディ・アル君で

すが、バングラディッシュ生まれの31歳。来日3年目になります。来日前はチキン精肉工場で品質管理業務に携わりながら、大学に通い修士課程を修了しています。きれいな奥様とかわいい女の子がいて、今年2月に彼女たちを呼び寄せ現在アパート暮らしをする傍ら、信州大学農学部生命医工専攻博士コースに通い、研究にいそしんでおります。この春からは同じ研究室の修士課程にバングラディッシュ人の後輩も入りちょっと先輩面といったところです。伊那市にはありがたいことに信州大学があるので、留学生の皆さんはちょくちょく街中で見かけます。中国、韓国、バングラディッシュ、パキスタン、スリランカ、タイ、ナイジェリア、ケニアと多岐にわたります。アミン・エムディ・アル君の研究内容は、「ニワトリが卵から孵化する際にその前後において腸内から分泌されるホルモンの研究」です。そのホルモンが血糖値上昇を抑えたり、肥満に関するものであったりするため、今後非常に有用される研究と思います。今日は本人から研究の話をはじめ、祖国バングラディッシュで1,000人の方が亡くなったといわれる大きなデモについても若干ふれさせていただきます。よろしくお願いたします。



●アミン・エムディ・アル 米山留学生＝自分の研究内容です。ニワトリの有精卵が成長して孵化するまでに、ヒナの腸内から分泌されるホルモンの種類と分泌量を顕微鏡で定期的に測定し、孵化前後のどの段階でどのホルモンが一番活発に分泌されているかについて研究をしています。(様々な顕微鏡事象を紹介いただく) また母国バングラディッシュの紹介や、先日起こった暴動について「政治状況が良くない。これに対して学生が怒って発生しました。」といった説明がありました。

●小針哲郎 ロータリー財団委員長＝近頃入会の若い人たちから財団とは一体何なのかをよく聞きます。そこで調べるとようは寄付を集め、財団に寄付をすれば財団が様々な活動してくれる。自分は広告屋ですので、寄付やスポンサーを集めることは多くしておりますので、今日は寄付を出す側の話をしようと思います。寄付は金銭や物品を特定の目的や団体に贈る行為。地方自治体、非営利団体、NPO法人、国連機関などへ。寄付で子供の貧困や災害・医療課題などの社会科代解決に貢献できる。自治体やNPO法人などに寄付した場合は、一定の寄付金控除をうけることができる。ボランティア

は、自分から進んで社会活動などに無償で参加する人たち。3原則として自発性、社会性、無償性がある。またNPO法人は寄付を集める代表的な団体。営利目的とせずア駅を会員等で分配しない。法人格なので、契約や土地登記などが可能。社会的な信用もあり、公的機関と事業範囲が似ている。補助金など資金調達方法が豊富で、資本金などは必要ない。などが特徴です。寄付が目指す理想形としては、社会問題を自分で解決するのではなく、社会問題に関心ある人たちと一緒に解決をしていく。人々の思いを寄付で集め、専門に活動する団体等が具体的に行動してもらうのが理想。2011年東日本大震災では1兆180億円の寄付が集まる。震災、災害が人々の助け合い精神を呼び起こすきっかけになる。しかしながら日本ではなかなか寄付が集まらない。なぜか？寄付先の信用度が少ない。日本の自己責任論が根底に。貧困は社会構造により生み出され、生活が困窮するのは個人の選択の結果なので、その支援は政府が行うべき。などの考え方が主流。風土、宗教の違いも大きい。キリスト教は寄付をした見返りに、救いや悟りを得られると考える。イスラム教は収入の一部を貧しい人に与える喜捨という考えがある。寄付を義務ととらえる考え方も。日本は戦後、仏教や国家神道が解体され、宗教に対して苦手意識や興味が少なく、そのための寄付への習慣が少ない状況に。国の富裕度よりも宗教的な要因により寄付額少ないと思われる。寄付したメリットを与えることも重要。J寄付をした人や法人がどのようなそのアドバンテージを享受できるかも必要なのでは。要は興味と共感と実感を得られなければ、なかなか寄付は集まらない！ロータリー財団への興味は？共感？実感はありますか？寄付したいですか？ロータリー活動もまさに地域や近くにいる人や企業にもっと理解され、興味や共感を抱かれなくては、新入会員や寄付は集まりにくくなるのでは。興味や共感を抱いてもらいたい人達が、共感する発想とワクワクするような成果が必要と考えます。さあどうしますかロータリークラブ？

自分はお世話になっているトライアスロン大会では、競技参加者が地元へ感謝の気持ちを伝えることと、法人が諏訪湖浄化と八ヶ岳自然保護への貢献を、トライアスロン大会を通して寄付として集め、その寄付金を浄化と保護活動支援に分配していきたいと考えています。トライアスロン大会は道路交通規制、ボランティア、準備だけの苦勞だけでなく、参加してくれた競技者とそれを応援する企業によって、わが故郷にメリットがある！という構造を創り上げていければ、共感、実感を得られるのではと考えています。さあロータリアンの皆さん、財団への寄付を含めてこれからどうしていくかを考えてまいりましょう！さあどうする諏訪ロータリークラブ！以上です。

#### ◆今後の例会日程

11/22(金)	準法定休日
11/24(日)	バスハイク
11/29(金)	休日
12/6(金)	2024年を振り返って
12/13(金)	年次総会